



きずな

3部リーグ・Hブロック

LEAGUE REPORT

U-12サッカーリーグ
北海道 札幌地区リーグ2019
チャレンジリーグ Hブロック
(令和元年5月18日～9月1日)

最終順位(全日程終了)		
1位	FC TIPS	35
2位	北園美香保	28
3位	リベルタ栄町	26
4位	SSSサクセスA	26
5位	札幌緑	17
6位	札幌中央	12
7位	発寒	11
8位	苗穂	6



(左上) 創部50周年を迎えた苗穂 (上右) 堂々1位のTIPS
(右2枚) SSSグラウンドなど人工芝で白熱した試合が繰り広げられました

チャレンジリーグHブロックは、4月末の開幕が雨で延期となり、他のブロックよりも遅い5月18日に開幕となりました。3部リーグの中でも特に激戦ブロックと呼ばれる強豪ばかりのブロックで、毎試合目の離せないゲームばかりでした。参加チームはリーグ戦順に リベルタ栄町(東区)北園美香保(東区)TIPS(北区)SSSサクセスA(手稲区)発寒(西区)苗穂(東区)札幌緑(東区)札幌中央(中央区)の8チームでしたが、どのチームも多彩なサッカーで観戦する方々を魅了する展開をみせてくれました。今年度は特に天候に左右されることが非常に多く、特に当日雨天で会場変更となったこともあり、運営的にも会場確保が非常に難しく、また今年度からリーグ戦が20分ハーフに変更となったことも、貸与時間との調整にも影響がある中で、全日程を各チームのご協力の中で消化、実施できました。



【開催当日の雨天で使用できず・・・(札幌緑小グラウンド)】



リーグ戦を常にけん引したのはTIPS。大型エースの10番がチームの大黒柱ですが、その選手を支える中盤および守備陣の安定も冴え、11勝2分1敗と圧倒的な差をつけての1位で来季2部昇格を決めました。2位北園美香保と3位リベルタ栄町は勝ち点2差での順位で僅差でした。またそのリベルタ栄町と同勝点ながら惜しくも4位となったSSSサクセスAは得失点差で4位。5位は前回入替戦を経験した札幌緑が今季は5位でフィニッシュし残留。6位の札幌中央は今季6年生が3人と少なく、リーグ中盤での逆転負け等が終盤に響き順位を上げられず6位となり入替戦へ。7位発寒は6位との差が勝点1だけだったが惜しい結果となりました。創部50周年を迎えた伝統ある少年団、苗穂は残念ながら節目に飾ることはできませんでしたが今後のチームに期待の持てる素晴らしいチームでした。1年で必ずまたこのブロックに返り咲いてくれることを期待しています。

全体的な総評として、全日少と同等の20分ハーフのゲームとなったことで、終盤に体力面で差が出てくるチームもあり、残りわずかな時間帯で失点してしまうケースもありました。またどのチームも攻守の展開の切り替えを要求する戦術が増えたことで終盤時間の使い方なども工夫がみられるためか、ロングボールを多用する試合もあり、そのせいかチーム内でもしっかりと蹴られる選手が後方に配置されているチームと、ショートパスの多様化で守備陣形で両サイドに展開を要求するために、蹴れるだけではなくしっかりと縦に走れる選手を重視して配置するチームもありました。どちらも高度な戦術要求ではありますが、どうしても「大きく」かつ「速く走れる」パワーで圧倒されるゲームが多くなったようにも感じました。一方で上級生の在籍人数が少なく5年生中心のチームや全体的に小柄な選手が多いチームなどは、前年度以上に厳しいゲームを強いられたと思います。



大会全体を通して、またここ数年同様に感じることであれば、1人制審判の実施です。8人制では1人審判を推奨していますが、3部以上の拮抗した強度の高いゲームになればなるほどオフサイドラインなどの詳細な部分で審議の差異が結果に影響し、よって公平を期する考えから4人制審判での実施が増えていきますが、現状として帯同の指導者確保などでチーム負担が増えてしまう現象があり、そこに20分ハーフの試合が続き、効果的な運営といえるか疑問だと思えます。

また会場についても、今大会は雨天時の対応など含め、効率よく消化するために2会場開催なども含め柔軟に対応でき、結果的に北園美香保ユナイテッド(美香保小)には多大に会場提供して頂きましたことを感謝致します。同時にSSAPや東雁来公園Gの人工芝会場だけに限らず、2面開催できる会場の確保や、会場確保とはいえお盆時期の開催などは選手(家族)の負担が大きいことも考慮して頂きたいと思えます。今後もより良い環境で好ゲームが繰り広げられることを願うばかりです。